

「第29回全国 川サミットin一関」が開催されました



首長サミットの様子

地域づくりなどの必要性を語り、意見交換が行われました。また、サミットに先立ち、国土交通省水管理・国土保全局河川環境課長の高村裕平氏が講演を行いました。

全国川サミットとは？

1級河川と同じ名前や流域の自治体が集まり、川の恩恵や人々との関わりを生かしながら川と共存するまちづくりを進める目的で毎年開催されています。



NPO法人北上川サポート協会 金野和則事務局長

17日には一関文化センターを会場に一般公開され、盛岡さんさ踊りがオープニングを飾りました。その後、川に関わる活動を行っている3団体による事例発表が行われました。このうち、一関市内のNPO法人北上川サポート協会から金野和則事務局長が「川とのふれあい～北上川と私たち～」と題して発表を行いました。北上川カヌー体験や自然学習活動などの取組を発表し、「活動全てが人材育成だと思っている。川とのふれあいを通じて地域づくりに携わっていく。」と決意を述べました。



北上川の歴史パネル展示の様子

同サミットは、次世代により良い川との共生を図っていくことを誓う共同宣言を満場一致で採択し、閉幕しました。



開会を告げる盛岡さんさ踊り

編集後記

新型コロナウイルスの問題に加え、今後の開催の在り方も検討するため次回の川サミットは1年延期され2022年度に愛知県岡崎市で開催が決定されました。(よ)